



教育目標「学ぶ吉中 鍛える吉中 心の吉中」

吉田中学校だより

令和 8 年 8 月 17 日発行第 29 号

Tel. 0256-93-3235

吉田中 HP「学校日記」

「校長 vision」お見逃しなく!!



不死鳥

校 長 武井 正明

見附の自宅にいと、よく花火が聞こえてくる。

7 月は柏崎の花火の音が聞こえてきて驚いた。自宅が原発から近いことを実感する。テレビ中継していたので、それを見ながら聞いていると、なんとも不思議な感じだ。

長岡花火を初めて観たのは、教員になった最初の夏休み。とりわけ目の前で上がった、大スターマイン「向日葵」が忘れられない。黄金の向日葵の大輪が何重にも折り重なって、これでもかと胸を打ちつける花火に圧倒された。

やがて結婚し見附の住民となる。新潟花火は遠くなり、長岡花火が近くなった。

祭りの主役は娘。樽林を引いたり、パレードで演奏したり。祭りは「見るもの」から「参加するもの」へと変わった時期だ。

妻は花火や祭りとなるとじっとしてられない。家にいと我慢できないのが伝わる。夕方おにぎりやお弁当、おやつに飲み物をもって夕暮れと共にそわそわ家を出る。

打ち上げ前のざわめきの中をひたすら歩く。ようやくいつもの場所に辿り着く。ここからナイヤガラは見えない。遠くに特等席の提灯がぼんやり紅く光る。

まだ空の碧が残る川べりで最初の一発、真っ白な菊が上がる。それが日本一の長岡花火の幕開けの合図だ。



暑かった昼間も終わり、川の緑を抜けて辿り着く風が涼しく心地よい。

私は呑みながら横になる。ほろ酔い加減で夜空の花火を見ながら音を聞く。何とも言えない幸せな気分に入る瞬間だ。今年もまたこの季節になったか…。

初めてフェニックスを観た時、しぜんに涙が出た。1945 年 8 月 1 日から 2 日長岡に無数の爆弾が落とされ、1489 人が亡くなった。その長岡空襲から二週間後、日本は終戦を迎えるのである。甚大な犠牲の上に現在の平和があることを、私たちは忘れてはならない。

(写真は 2 年前の体育祭。伊藤写真館さんが「まるでフェニックスのようだったので」
と寄贈くださった美しい一枚。今年も長岡の夜空を彩った)

7/11(土)卓球県大会(小千谷市体育館)



7/11、12(土日)・18日(土)野球県大会(見附球場・三条パール金属スタジアム)



吹部練習の合間



7/19(日)カラーガード関東コンテスト(彩の国くまがやドーム)



7/21～23 職場体験学習(2年)



令和8年度 8月後半～9月中旬の主な行事

- 17(月) 全中(～24日)
- 18(火) 体育祭リーダー活動日①
- 20(木) 体育祭リーダー活動日②
- 24(月) 体育祭リーダー活動日③
- 25(火) 2学期始業式 体育祭結団式
- 9/2(水) 評議会・専門委員会

